

# 兵庫県立 考古博物館 NEWS Vol.13



Hyogo Prefectural  
Museum of  
Archaeology



2014 Spring—Summer

古代官道  
山陽道と  
駅家  
——うまや——  
律令国家を支えた道と駅

たつの市布勢駅家跡出土 墨書土器「驛」当館蔵【県指定】



平成26年春夏号

## ■ 特別展

「古代官道 山陽道と駅家<sup>うまや</sup>—律令国家を支えた道と駅—」……………2

◆企画展「兵庫五国の考古学—官兵衛を巡る五国の城—」……………4

◆ふるさと発掘展「古代山陽道と野磨駅家」……………5

◆赤米(古代米)づくりを通じた学校連携について……………6

◆播磨国風土記紙芝居キャラバン……………7

風土記1300年記念特別展 阪神・淡路大震災20年展

## 「古代官道 山陽道と<sup>うまや</sup>駅家 一律令国家を支えた道と駅」

平成26年4月19日(土)～6月22日(日)

飛鳥時代から平安時代(7世紀後半から10世紀)の律令制下には中央と地方を結ぶ大規模で直線的な道路である官道や、往来する公的な使者が利用する<sup>うまや</sup>駅家がつくられました。官道や駅家は中央と地方の連絡のみならず徴税や流通、軍事面でも重要視され、特に都と大宰府を結ぶ唯一の大路である山陽道は、国外からの賓客も利用する最も重要な交通路でした。



隠岐国駅鈴  
(複製：姫路文学館蔵、原品個人蔵)

私たちのふるさと兵庫県には山陽道をはじめ山陰道・南海道が通り、28ヵ所もの駅家がつくられました。今から約1,300年前に編纂された『播磨国風土記』にも山陽道の駅家の名がみえます。

兵庫県では駅家の全容が初めて解明された布勢<sup>ふせの</sup>駅家や、駅家として全国で初めて史跡指定された野磨<sup>やまのうまや</sup>駅家などが所在し、全国に先駆けて駅家の調査が進められてきました。駅家研究の最先端の地と言えるでしょう。

さらに当館では開館以来、古代官道関連遺跡の調査を全国に先駆けて実施し、賀古<sup>かこのうまや</sup>駅家や邑美<sup>おうみのうまや</sup>駅家の発見などの成果につなげてきました。

本展覧会では県内の古代山陽道や駅家調査研究の最新成果を公開するとともに、関連遺跡から出

土した考古資料、起点・終点である奈良の都と九州の大宰府の出土品を展示し、人々と交通の関わりを探ります。



大宰府跡出土瓦瓦 (九州歴史資料館蔵)

### ◆律令格式への道—倭国から日本へ—

大きく揺れ動く7世紀の東アジアの情勢のなかで、日本も大化改新から<sup>はくすきのえ</sup>白村江の戦いと<sup>じんしん</sup>壬申の乱、そして大宝律令の成立と、大きな転換期を迎えます。

唐の制度を元にして作られた律令法によって国を統治する律令制では、身分制度、官僚制国家機構、公民支配などが基本的特徴となっています。

律令制下において制定された官位制、戸籍、重さ・長さなどの<sup>どりょうこう</sup>度量衡の統一、そして文書行政のための文字の普及などによって徹底した中央集権体制としての国家の偉容が示されます。その様子は、京や各地の官衙遺跡から出土した<sup>こしおびぐ</sup>腰帶具、定規や<sup>かんが</sup>杵や硯や木簡などからうかがうことができます。





平城宮復元大極殿（奈良文化財研究所写真提供）

### ◆七道と駅伝制の整備

律令制のもと中央集権国家体制が構築され、また五畿七道と呼ばれる地方制度が確立します。その一貫として駅伝制<sup>えきでん</sup>に代表される全国的な交通網が整備されます。国家が設置した山陽道などの官道は、大規模で直線的なものでした。

地方の通信や情報は中央へ、中央の命令は地方へと速やかに伝わり、国家財源や貢納物も官道を通して国家に集中できるようになります。平城京で出土した荷札木簡からそのことが読み取れます。播磨国産のものが多く見られる出張所もあったようです。また、軍隊の大規模な行動を可能とし、特に山陽道では国外の使節も通行できるように整備されました。

官道には30里（約16km）ごとに駅家<sup>うまや</sup>という施設が設けられます。地方との連絡役である駅使<sup>えきし</sup>は、駅家で馬を乗り継ぎ、宿泊もしました。饗宴に使われた高価な焼物も備えていました。大規模な官道や瓦葺きの駅家の姿は、外国の使節のみならず、道を通行するすべての人々に国の偉容を示したことでしょう。



賀古駅家跡出土瓦（個人蔵）

### ◆<sup>とおのみかど</sup>遠朝廷から<sup>けいし</sup>京師へー古代山陽道と駅家ー

本展では、古代山陽道の終点である大宰府から都までの道と駅家をたどり、その役割や道を介して行き来した人々や物品、情報から当時の人々の動きを探ります。

瓦葺きの礎石建物が建ち、遠方から持ち込まれた陶磁器などの調度品を備えた最先端の施設の様子と体制下における民衆の生活を読み解きます。

（学芸課 別府洋二）

### 《展覧会関連情報》

#### 【講演会】

会場／当館 講堂  
時間／13:30～15:00（12:50より受付開始）  
定員／120名  
参加料／無料 当日受付

#### ○特別講演会

5月10日（土）「古代の山陽道と瀬戸内海の交通」  
松原弘宣（愛媛大学名誉教授）

#### ○講演会

4月26日（土）「古代の役所と遺跡の保存・活用」  
坂井秀弥（奈良大学教授）

5月24日（土）「そののけそののけ駅馬<sup>はゆま</sup>が通る」  
馬場 基（奈良文化財研究所主任研究員）

6月 7 日（土）「播磨国駅家研究の最前線」  
岸本道昭（たつの市教育委員会課長補佐）

6月14日（土）「播磨国の古代山陽道について」  
木本雅康（長崎外国語大学教授）

#### 【体験イベント】

##### 「駅家の鬼瓦をつくろう」

日時／4月27日（日）13:30～15:00  
定員20名（要予約） 参加費300円

#### 「考古博であそぼうー古代の遊びで雅な気分ー」

日時／5月4日（日）～6日（火）12:30～15:30  
※一部観覧券必要

#### 【展示解説】

日時／会期中の毎日曜日 13:30～14:00

#### 【紙芝居】

##### 「古代山陽道と駅家」

日時／会期中の毎土・日曜日 13:00～13:30



阪神・淡路大震災20年展

## 企画展「兵庫五国の考古学—官兵衛を巡る五国の城—」

平成26年7月12日(土)～ 9月7日(日)

今年の大河ドラマの主人公黒田官兵衛<sup>よしとか</sup>孝高は、天下人豊臣秀吉の軍師として、59歳で亡くなるまで数多くの戦に従い、秀吉の天下統一に尽力した兵庫が生んだ英雄です。

天文15年(1546)、姫路城主黒田<sup>もとたか</sup>職隆の長男として生まれた官兵衛は、守護赤松氏に代わって実質的に中播磨を支配していた御着城<sup>ごちやく</sup>城主小寺政職<sup>こでらまさもと</sup>に仕えます。後に織田信長が播磨に進出するとその才能を見抜き、ついに主君政隆を説得して信長に臣従します。



黒田官兵衛顕彰碑

小寺政職は東播八郡の太守で三木城主であった別所長治が信長に反旗を翻す(三木合戦)とこれに呼応して信長から離反したため、別所氏と同様に小寺氏も滅亡します。

一方、官兵衛は三木合戦とほぼ同時に起こった<sup>ありおか</sup>摂津有岡城主荒木村重の反乱の報(有岡城の戦)を聞くと、村重を説得して信長に降伏するよう勧めるため有岡城に向かいますが、村重によって、城内の土牢に閉じ込められてしまいます。有岡城落城後、官兵衛は無事助け出され、その後は秀吉の軍師として活躍します。

官兵衛の最後の戦は、秀吉の死後ほどなく起こった関ヶ原合戦です。秀吉の死後、多くの大名が去就に苦慮する中、官兵衛は家康を有利と見て、長男の長政にその兵力の大部分を与え、家康の会津攻めに協力します。官兵衛自身は、三成派の多

い九州で家康派として活躍し、家康の勝利に側面から協力します。関ヶ原合戦の後、家康は官兵衛・長政父子の功績を賞賛しますが、官兵衛は福岡に隠棲し、城下町福岡の建設に余生を傾けます。

みやうちほりわき  
宮内掘脇遺跡(豊岡市)出土遺物

この展覧会では主に播磨、摂津を中心に官兵衛が残した足跡をたどると同時に、官兵衛が仕えた織豊政権によって、最終的には滅ぼされる丹波、但馬、淡路に残る戦国時代の城の盛衰を通して、兵庫五国がどのように中世から近世へと変貌を遂げるのかを概観します。

官兵衛が幽閉された伊丹の有岡城、別所長治の居城三木城、官兵衛が秀吉に献上した姫路城の初期城下町などから出土した土器・陶磁器、瓦、土製品などを通して、稀代の軍師黒田官兵衛が天下人信長、秀吉、家康に臣従あるいは対峙して生き残りを果たした変革の時代を描きます。

(学芸課 岡田章一)

## ● 講演会 兵庫五国の考古学 ●

兵庫五国の各地域の城と官兵衛の足跡をテーマに講演会を行います。

7月12日(播磨国Ⅰ)、26日(播磨国Ⅱ)、  
8月9日(摂津国)、23日(淡路国)、30日(丹波国)、  
9月6日(但馬国) いずれも土曜日 13:30～15:00



## ふるさと発掘展

阪神・淡路大震災20年展

やまのうまや

## 「古代山陽道と野磨駅家」

平成26年9月20日(土)～11月24日(月・休)

当館では県内各地の歴史系博物館、資料館、埋蔵文化財センター等とのネットワークを展開するために、各地域の歴史文化遺産を素材とした「ふるさと発掘展」を開催しています。

平成26年度は西播磨地域を会場に国史跡山陽道野磨駅家跡のある上郡町と連携し、展覧会を中心に講演会や体験イベントなどを開催します。また、前後する時期に古代山陽道の駅家があるたつの市、姫路市、加古川市、明石市の各教育委員会等とネットワークを結び、展覧会や講演会などを併せて開催します。

古代律令制の下、都と大宰府を結ぶ唯一の<sup>おおじ</sup>大路である山陽道は、原則30里(約16km)ごとに<sup>やまのうまや</sup>駅家を<sup>ふせのうまや</sup>設けていました。兵庫県内では、<sup>かこのうまや</sup>野磨駅家(上郡町)、<sup>おうみのうまや</sup>布勢駅家(たつの市)、賀古駅家(加古川市)、<sup>おろち</sup>邑美駅家(明石市)などの調査研究が進んでいます。

特に、国史跡山陽道野磨駅家跡は<sup>おろち</sup>落地遺跡<sup>はったん</sup>八反坪地区の掘立柱建物群が初期野磨駅家、<sup>おろち</sup>落地遺跡飯坂地区の礎石建物群は瓦葺として整備された後の段階の野磨駅家であると考えられます。駅家中枢施設の構造や機能、変遷が明確に判明しており、古代国家の交通体系と地方支配体制を具体的に示すものとしてきわめて重要です。

この展覧会を通じ、播磨地域の駅家の特性をとらえるとともに、史跡活用を推進する役割を探ります。

(学芸課 篠宮 正)



後期野磨駅家跡後殿から南西を臨む  
(上郡町教育委員会提供)



後期野磨駅家跡から出土した軒瓦  
(上郡町教育委員会提供)

会場／上郡町郷土資料館 2階

特別展示室

赤穂郡上郡町上郡500番地 5

TEL.0791-52-3737

休館日／月曜日

(10月13日、11月3・24日は開館。

翌日休館)

時間／9:00～16:30

観覧料／無料

期間中に講演会や体験イベントを計画しています。



## 赤米(古代米)づくりを通した学校連携について

当館では、平成22年度より播磨町立蓮池小学校と連携して、赤米（古代米）づくりを行っており、平成25年度で4年目となります。

博物館の約10アールの実験用水田を利用し、4年生の環境教育の一環として実施しています。この水田で栽培している品種は、赤米3種類（種子島赤米・対馬赤米・総社赤米）と紫黒米、ヒノヒカリ（ウルチ米）、ハリマモチ（モチ米）の計6種類です。

### －田植え－ 6月6日（木）

1クラスごとに横一列に並び、笛の合図で一斉に苗を植えていきました。田んぼに裸足で入る経験がないため、最初は大騒ぎになりましたが、一旦足を踏み入ると、ぬかるみに足を捕られながらも、丁寧に苗を植えました。赤米を含めた4種類の苗を植え、みんなが秋の収穫を楽しみにしていました。



### －稲刈り－ 10月18日（金）

黄金色に実った稲穂を刈り取る作業を行いました。稲穂を見る機会はあるけれども、実際に刈り取った経験のない子どもたちです。腰をかがめて作業を行っていました。古代人の米づくりの苦労を体感するために、準備した石製穂摘具（石包丁）で、稲の穂首を刈る収穫体験も行いました。鉄鎌での作業とは異なり、作業効率の良くない穂先だけの刈り取りに多くの児童が興味をもったようです。



### －味わい－ 1月24日（金）

蓮池小学校では赤米のご飯の米飯給食でした。4年生が収穫したヒノヒカリ約60kg、対馬赤米約7kgを全校児童で試食しました。普段見慣れぬ赤米ですが、児童たちは「わあ、おいしい!」「やっぱり、自分が作ったものは味がちがうわ」「また、つくりたい!」と歓喜の声をあげ、自ら収穫した苦労を思い、古代の人々の気持ちを感じながら食べていました。



赤米の一部は、兵庫県立農業高等学校の食品科学科の生徒が、お菓子などの加工食品として、当館で11月1日（土）に開催される「第7回全国古代体験フェスティバル」に出品する予定です。

赤米づくりに参加することにより、子どもたちが日本古来から続く米食文化を再認識し、一番身近な食物である「米」の大切さを学ぶ食育の一環となるように、当館も支援していきたいと思っています。

（学習支援課 富永和典）



## はりまのくに ふ ど き 「播磨国風土記紙芝居キャラバン」

平成25年春の特別展「播磨国風土記－神・人・山・海－」が開幕した頃、『播磨国風土記』に関連したあるプロジェクトが始動しました。「播磨国風土記紙芝居キャラバン」と名づけたこのプロジェクトは、『播磨国風土記』に書かれている話をモチーフにして紙芝居をつくり、それを播磨地域の小学校などへ上演に行こうというものです。

当館では幼児向け学習ツールとして平成21年度、22年度に『海のお米』『おなかいっぱい』の紙芝居と絵本を制作しています。これを参考に紙芝居とその解説書となる絵本をつくろうと、5月末に制作委員会を立ち上げました。この委員会には播磨町の小学校の元教員や、紙芝居を使って読み聞かせをおこなっている図書館の職員などに入ってもらい、小学生向けの紙芝居をつくるためにさまざまなアドバイスをいただきました。



紙芝居「播磨国風土記ものがたり」

もっとも難しかったのは、ストーリー制作です。『播磨国風土記』にはひとつの紙芝居では収まりきらないほどの興味深い話が詰まっています。どの話を選び、どんな話に仕立てるのかを春の特別展期間中に当館ボランティア団体「ひょうご考古楽倶楽部」が作成した紙芝居をベースに何度も練り直し、そのストーリーをもとにデザイナーが絵を起こしました。絵柄にもこだわって、役人の服装、机の上の文房具、役所の建物構造など考古学的、歴史学的な見地を加えて考古博物館らしい紙芝居に仕上げました。

昨年10月には試作紙芝居を播磨町立播磨小学校で上演しました。そのときの子どもたちの反応を

みて、さらに改良を加え、今年の1月に紙芝居「播磨国風土記ものがたり」が完成しました。

完成した紙芝居を持って、今年2月末までに播磨地域の3ヵ所の小学校や高等学校などに当館ボランティアとキャラバンを組んで上演にまわりました。回を増すごとにボランティアの演技も熟練し、何度聞いても面白い紙芝居となりました。

この紙芝居は、古代の播磨の役人が官命により「風土記」を編纂する物語をベースにして、オオナムチノミコトとスクナヒコネノミコトの我慢比べの話、伊和大神と天日槍命の土地をめぐる争いを紹介しています。

紙芝居は当館のほか、播磨地域の図書館などにも置いています。また、サイズを小さくして、解説を加えた絵本は今後3ヶ年にわたって中播磨県民局から播磨地域の全小学校の6年生に配られます。

『播磨国風土記』は漢文で書かれた地誌です。「風土記」は奈良時代に編纂命令が下り、全国でつくられましたが、現存するのは播磨を含めた5ヵ国分のみです。とくに『播磨国風土記』は編纂命令から数年後の播磨の状態を記しており、貴重な書物です。奇跡的に残った「風土記」をもつ地域に暮らしていることを知ってもらいたい、そんな願いが込められています。分かりやすく楽しいものに仕上がった紙芝居「播磨国風土記ものがたり」をきっかけとして、多くの子どもたちがふるさとへの興味や愛着をもっていただければ幸いです。

(学芸課 藤間温子)



新宮宮内遺跡の復元竪穴住居内での上演の様子。  
たつの市立新宮小学校4年生が参加してくれました。



## イベント・スケジュール

| 4 月         | 分類   | 名 称   |
|-------------|------|---|
| 12日(土)      | 解 説  | バックヤード見学ツアー                                       |
| 19日(土)      | 展覧会  | 特別展「古代官道 山陽道と駅家―律令国家を支えた道と駅―」開幕                   |
| 26日(土)      | イベント | 特別展講演会「古代の役所と遺跡の保存・活用」<br>坂井秀弥(奈良大学教授)            |
| 27日(日)      | イベント | 駅家の鬼瓦をつくろう  |
| 5 月         |      |   |
| 4日(日)       | イベント | HariMa MUSIC CARNIVAL 6                           |
| 4日(日)~6日(火) | イベント | 考古博であそぼう―古代の遊びで雅な気分―                              |
| 10日(土)      | 講演会  | 特別講演会「古代の山陽道と瀬戸内海の交通」<br>松原弘宣(愛媛大学名誉教授)           |
| 10日(土)      | 解 説  | バックヤード見学ツアー                                       |
| 18日(日)      | ツアー  | 遺跡ウォーク「播磨の駅家をたずねて〜上郡町〜」                           |
| 24日(土)      | 講演会  | 特別展講演会「そのけそのけ駅馬(はゆま)が通る」<br>馬場 基(奈良文化財研究所)        |
| 31日(土)      | 体験講座 | はじめての土器づくり  |
| 6 月         |      |   |
| 7日(土)       | 講演会  | 特別展講演会「播磨国駅家研究の最前線」<br>岸本道昭(たつの市教育委員会)            |
| 8日(日)       | 体験講座 | 赤米をつくろう〜田植え〜                                      |
| 14日(土)      | 体験講座 | 強力パワー！子持勾玉づくり                                     |
| 14日(土)      | 講演会  | 特別展講演会「播磨国の古代山陽道について」<br>木本雅康(長崎外国語大学教授)          |
| 14日(土)      | 解 説  | バックヤード見学ツアー                                       |
| 21日(土)      | 講演会  | 考古学研究最前線1「神ノ岡に埋納された銅鐸群―神戸市神岡桜ヶ丘遺跡―」<br>石野博信(当館館長) |
| 22日(日)      | 展覧会  | 特別展「古代官道 山陽道と駅家―律令国家を支えた道と駅―」閉幕                   |
| 28日(土)      | 体験講座 | ループ組紐・5本ループに挑戦！                                   |
| 29日(日)      | イベント | 再現！古代のまじないーひとがた流しー                                |
| 7 月         |      |   |
| 5日(土)       | 講演会  | 考古学研究最前線2「土器に残された痕跡から調理を考える」<br>篠宮 正(当館学芸員)       |
| 12日(土)      | 展覧会  | 企画展「兵庫五国の考古学―官兵衛を巡る五国の城―」開幕                       |
| 12日(土)      | 講演会  | 兵庫五国の考古学「播磨国の城と官兵衛の足跡1」<br>多田暢久(姫路市立城郭研究室)        |
| 12日(土)      | 解 説  | バックヤード見学ツアー                                       |
| 13日(日)      | イベント | クイズ&スタンプラリー                                       |
| 19日(土)      | 体験講座 | 自由に土器をつくってみよう                                     |
| 20日(日)      | 体験講座 | ゆらゆら動く ハニワのモビールづくり                                |

| 7 月    | 分類   | 名 称  |
|--------|------|--|
| 20日(日) | イベント | クイズ&スタンプラリー                                    |
| 26日(土) | 体験講座 | キラリ！ガラスまが玉づくり                                  |
| 26日(土) | 講演会  | 兵庫五国の考古学「摂津国の城と官兵衛の足跡2」<br>金松 誠(三木市教育委員会)      |
| 27日(日) | イベント | クイズ&スタンプラリー                                    |
| 30日(水) | 教員講座 | 授業で使える！古代の火おこし                                 |
| 8 月    |      |  |
| 2日(土)  | 体験講座 | ハニワくんをつくろう                                     |
| 3日(日)  | 体験講座 | ウキウキ！藍染め体験―藍の魅力を知ろう―                           |
| 3日(日)  | イベント | クイズ&スタンプラリー                                    |
| 9日(土)  | 体験講座 | 自由に土器をつくってみよう                                  |
| 9日(土)  | 講演会  | 兵庫五国の考古学「摂津国の城と官兵衛の足跡」<br>中畔明日香(伊丹市教育委員会)      |
| 9日(土)  | 解 説  | バックヤード見学ツアー                                    |
| 10日(日) | 体験講座 | ワクワク！金属まが玉づくり                                  |
| 10日(日) | イベント | クイズ&スタンプラリー                                    |
| 16日(土) | イベント | 古代人オンステージ                                      |
| 17日(日) | イベント | クイズ&スタンプラリー                                    |
| 20日(水) | 教員講座 | 授業で使える！本格石包丁づくり                                |
| 23日(土) | 体験講座 | 古代の技に学ぶ かごづくりに挑戦！                              |
| 23日(土) | 講演会  | 兵庫五国の考古学「淡路国の城と官兵衛の足跡」<br>金田匡史(洲本市教育委員会)       |
| 24日(日) | イベント | クイズ&スタンプラリー                                    |
| 30日(土) | 体験講座 | 本格勾玉づくりに挑戦！                                    |
| 30日(土) | 講演会  | 兵庫五国の考古学「丹波国の城と官兵衛の足跡」<br>芦田岩男(丹波市教育委員会)       |
| 31日(日) | イベント | クイズ&スタンプラリー                                    |
| 9 月    |      |  |
| 6日(土)  | 体験講座 | 本格土器づくり工房―縄文土器編―                               |
| 6日(土)  | 講演会  | 兵庫五国の考古学「但馬国の城と官兵衛の足跡」<br>中島雄二(朝来市埋蔵文化財センター)   |
| 7日(日)  | イベント | クイズ&スタンプラリー                                    |
| 7日(日)  | 展覧会  | 企画展「兵庫五国の考古学―官兵衛を巡る五国の城―」閉幕                    |
| 13日(土) | 体験講座 | ループ組紐・アクセサリ製作[上級編]                             |
| 13日(土) | 解 説  | バックヤード見学ツアー                                    |
| 20日(土) | 講演会  | 考古学研究最前線3「兵庫の縄文土器」<br>大本朋弥((公財)兵庫県まちづくり技術センター) |
| 20日(土) | 展覧会  | ふるさと発掘展「古代山陽道と野原駅家」開幕                          |

■「石棺に入ろう」は毎週土曜日、「古代船に乗ろう」は毎週日曜日に実施。14:00~15:00  
■体験講座は事前予約が必要です。TEL:079-437-5564(学習支援課)

■休館日:月曜日(祝日の場合は翌平日)ただし、4月28日(月)は開館  
■イベントについての詳細情報は当館ホームページ・チラシでご確認ください。

## 兵庫県立考古博物館NEWS vol.13 2014 Spring-Summer

発行年月日 平成26年3月20日

編集・発行 兵庫県立考古博物館  
〒675-0142 兵庫県加古郡播磨町大中1-1-1  
TEL.079-437-5589  
FAX.079-437-5599  
<http://www.hyogo-koukohaku.jp/>  
最新情報はホームページ・スタッフブログをごらん下さい。

- 電車をご利用の方/JR土山駅南口から「であいのみち」を徒歩15分  
山陽電車播磨町駅から喜瀬川沿いを徒歩25分
- お車をご利用の方/第2神明・加古川バイパス明石西ICから約3km
- 駐車場/町営大中遺跡公園駐車場・野添であい公園駐車場をご利用ください(普通車1回200円)



触れる・体感する、考古学のワンダーランド。  
**兵庫県立考古博物館**

